

令和7年4月1日より 空港島～市街地シャトルバスの毎日運行化『試行』について

1 地域の現状

- コロナ禍の収束にともない、中部国際空港や愛知県国際展示場を中心に、常滑市を訪れる人流が回復しています。
- 特に今年度は、日本ガイシホールが改修工事で休館していることもあります、愛知県国際展示場で非常に多くのイベントが開催されています。
- 一方で常滑市には愛知県国際展示場の後背地として課題があり、このような地域活性化の機会を取り込みきれていない状況です。

● 地元の課題

- 市街地が持つ魅力的な地域資源を活かして、空港島から市街地側に人を呼び込み、市の活性化に繋げることが重要
- 初めて来訪する人でも、空港島と市街地を気軽・簡単に移動できる「足」が必要

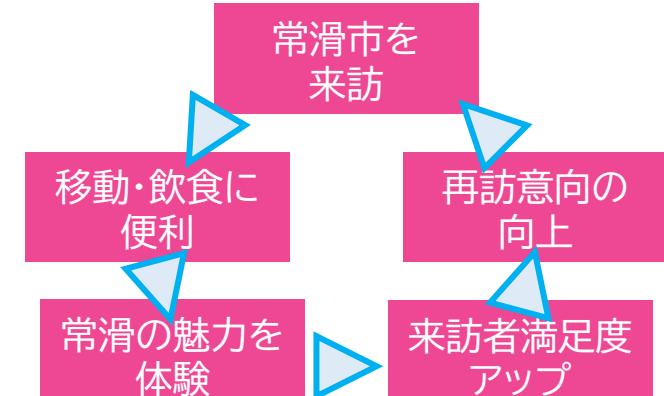
● 交通事業者の課題

- コロナ禍や「2024年問題」の影響で、人手不足が深刻
- タクシーは、鉄道やバスでは対応できない移動需要に応える公共交通だが、一部時間帯で需要過多・供給不足が生じており、住民の生活移動でも利用者の希望に応じられない場面がある

● 宿泊事業者の課題

- 空港島では夜遅くまで営業している飲食店が少なく、宿泊客がいわゆる「夕食難民」となっている
- 市街地に多くの飲食店がありながら、コンビニエンスストアで食事を済ますケースなどあり、来訪者の満足度低下につながっている

地域の課題を乗り越え、空港島を起点に
新規需要の創出
につなげ、活性化の好循環を生み出す



- 地域の魅力アップ!!
- イベント時も平時も賑わう!!
- さらなる来訪者の増加!!

2 これまでの取組み

2023年度、2024年度には、ビジネス展示会など来訪者が多く見こまれる日を中心に、イベントの主催者、出展者、来場者に市街地を訪れてもらうよう、運賃無料の空港島～市街地シャトルバス「TOKONAME魅力体験シャトルバス」の実証運行を実施してきました。

(1) TOKONAME魅力体験シャトルバス実証運行の概要

	2023年度		2024年度	
実施時期	10月～3月のうち 12日		9月～2月のうち 18日 (16日間終了)	
車両	20人乗り（補助席使用で最大27人乗り）マイクロバス 2台			
時間帯	10時～24時		9時30分～23時	
ダイヤ・便数	おおむね30分間隔 最大28便			30分～60分間隔 最大19便
ルート	10時～17時	17時～24時	9時30分～17時	17時～23時
	①愛知県国際展示場 ②陶磁器会館 ↓ ④イオンモール常滑 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ↓ ③常滑駅 ④イオンモール常滑 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ②常滑駅 ③陶磁器会館 ④イオンモール常滑 ⑤空港ホテル群 ⑥空港連絡通路下 ①愛知県国際展示場	①愛知県国際展示場 ②常滑駅 ↓ ④イオンモール常滑 ⑤空港ホテル群 ⑥空港連絡通路下 ①愛知県国際展示場
利用実績	循環ルート (1周約40分)		循環ルート (1周約50分)	
	929人／150便 1便あたり 6.2人	803人／162便 1便あたり 5.0人	2,303人／198便 1便あたり 11.6人	1,177人／144便 1便あたり 8.2人
	1,732人／312便	1便あたり 5.6人	3,480人／342便	1便あたり 10.2人

3 2025年4月1日からの空港島～市街地シャトルバスの毎日運行化『試行』について

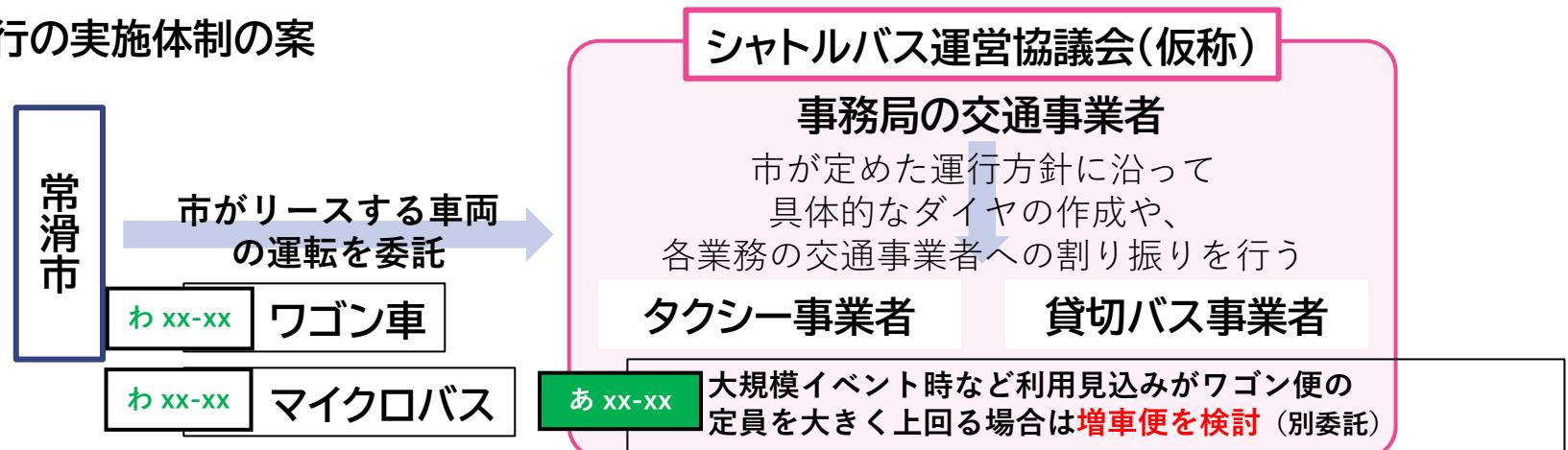
(1) 毎日運行の実施

- ・ 実証運行の結果からシャトルバスが、**新たな移動需要などの創出や愛知県国際展示場の後背地としての魅力向上**に資する効果が見込まれます。
- ・ 毎日運行化により**認知・定着が向上**し、来訪者に「タビマエ」段階から市街地も周遊する計画を立てるなど、**より大きな効果**も期待できます。
- ・ **来訪者の満足度向上**することに加えて、**新たな来訪者を呼び込むきっかけ**になります。
 - ・ 再訪意欲が高まり、**リピーター**が増える
 - ・ イベントをきっかけに来訪した人の**滞在時間や宿泊期間が伸長**する
 - ・ 名古屋など市外と比較した際に、宿泊先に**常滑市を選択する可能性**が高まる
 - ・ 一方で、イベント非開催日の運行実績がないため需要の計測と、需要にあわせた運行計画の調整が必要

空港島～市街地シャトルバスが地域活性化の好循環を生み出す

- ・ 宿泊税を活用し、**2025年4月1日(火)から毎日運行を試行で実施**する
- ・ イベントの有無や曜日などによる需要の変化を計測しながら、これまでの実証運行のダイヤやルートをベースとして運行し、**需要に合わせて見直し**を行っていく
- ・ 実施にあたっては、地域の公共交通に影響が出ないよう、交通事業者と一緒に運行体制や車両などを検討し、**合意のうえで実施**する
- ・ PRチラシやポスター、PRカード等を作成し、国際展示場やホテル(フロントやエレベーター、客室)など**多くの来訪者の目に届くような場所での周知**に努める

(2) 毎日運行の実施体制の案



- 2023、2024年度の実証運行は**イベント開催日**に実施した結果、
 - イベントの内容・来場者数
 - 主催者を通じた出展者等への周知
 - クーポン施策など、様々な要因で**利用者数が変化することが確認できました。**
- **イベント非開催日や平日**のデータが十分でないため、現時点で毎日運行化した場合の利用者数の予測を立てることが難しい状況です。
- そこで、**ワゴン車とマイクロバスを、市が1台ずつリースし、地域の交通事業者に車両管理や運転を委託し毎日運行（試行）をおこない、乗車数等のデータも採取します。**
- また、「**飲み歩き食べ歩きクーポン発行事業**」とあわせて市内飲食店の聞き取りを進め、イベント情報の積極的な入手による需要にあわせた店側の準備を働きかけます。さらに、シャトルバス運行と併せてクーポン利用を促進することで**イベント時だけでなく平時の賑わい**にも繋げます。

● 共同体で運行するメリット

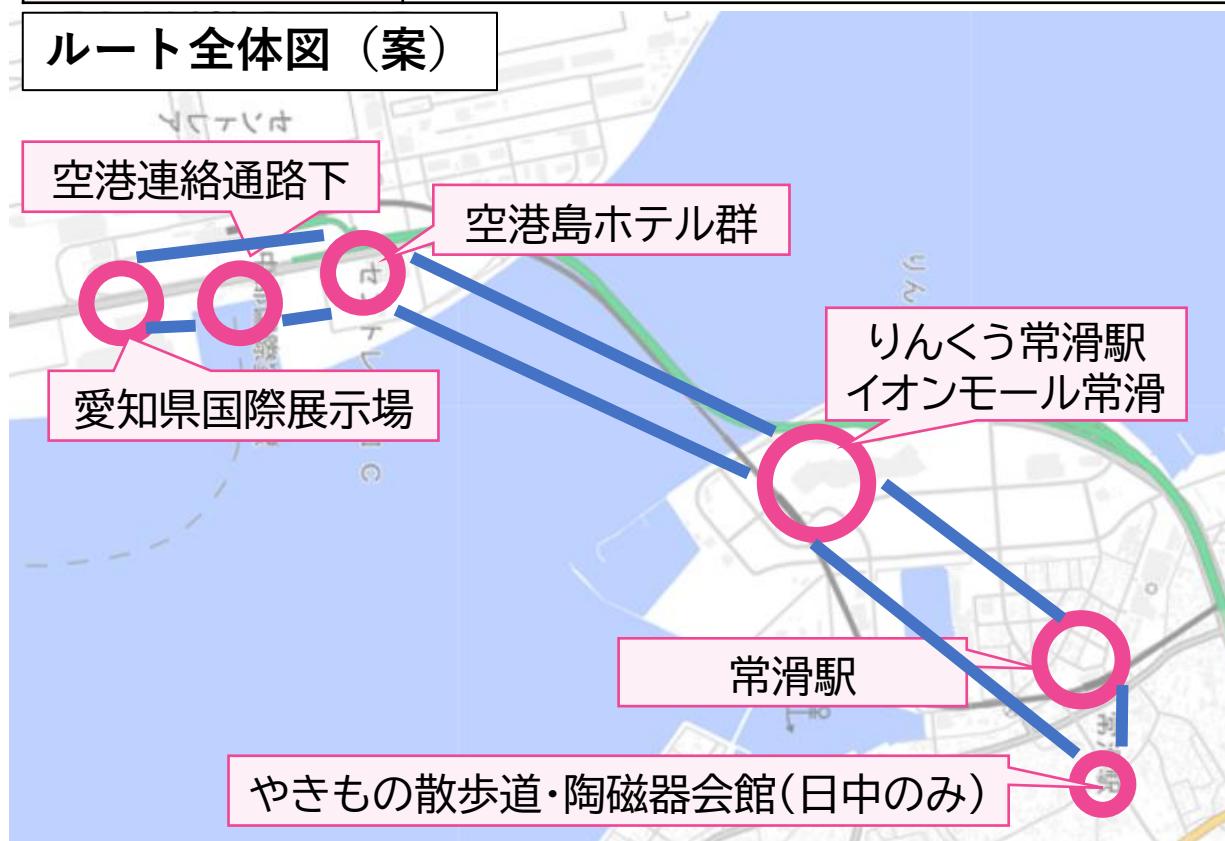
- 1社で受注した場合には運転手や車両の確保が難しいですが、共同体で実施することで、**複数社で体制を整える**ことができます。

(3) 毎日運行の案

実施時期	2025年4月～2026年3月（毎日）
車両	ワゴン車とマイクロバスを併用して運行
時間帯	2024年度実証運行（9時30分～23時）をもとに9時20分～23時19分で調整中
ダイヤ・便数	2024年度実証運行（30分～60分間隔）をもとに30分間隔で調整中
ルート	2024年度実証運行をもとに下記 全体図（案）、別紙（案）で調整中
運賃	無料

ルート全体図（案）

○ 停留所設置場所（案）



ルート（案）※調整中

空港島

常滑市

空港島ホテル

空港連絡通路下

愛知県国際展示場

（※休館日については調整中）

場

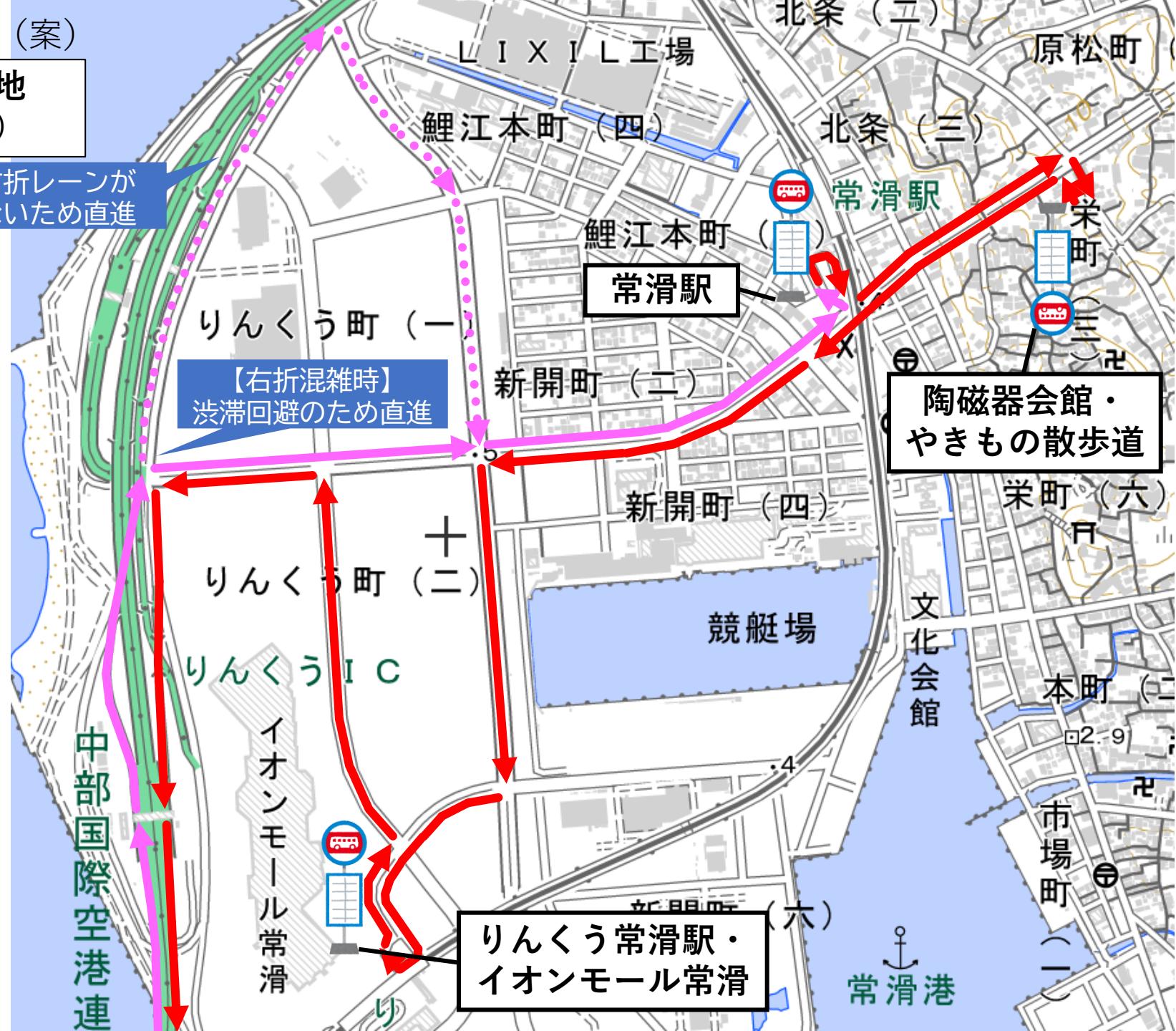
セント

ルート(案)

市街地
(昼)

右折レーンが
ないため直進

【右折混雑時】
渋滞回避のため直進



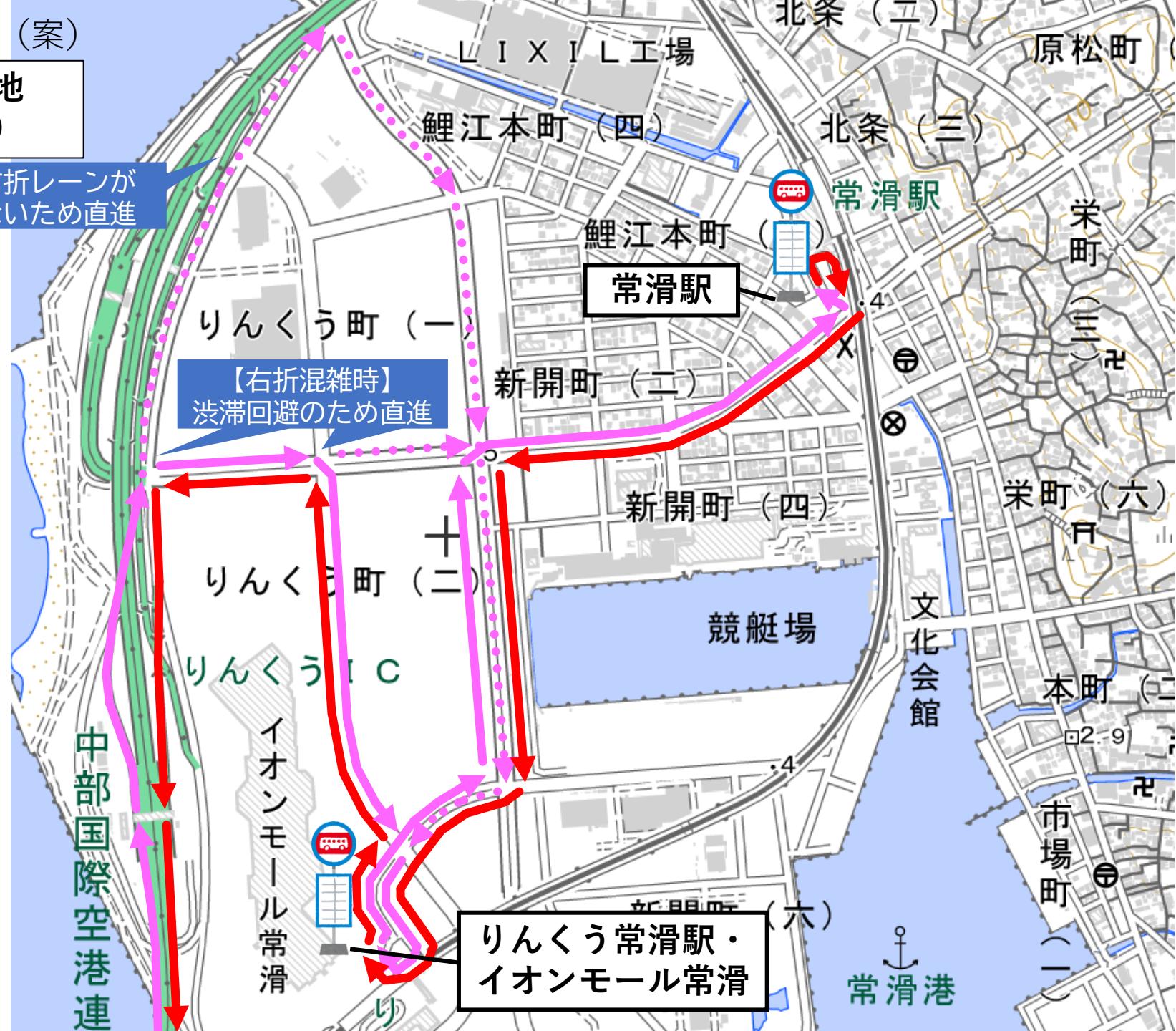
ルート(案)

市街地
(夜)

右折レーンが
ないため直進

【右折混雑時】
渋滞回避のため直進

りんくう常滑駅・
イオンモール常滑



運行ダイヤ（案）※調整中

		便名	W1	B1	W2	B2
		車種	ワゴン	バス	ワゴン	バス
	停留所	前運用	始発	始発	W1	B1
1	空港島ホテル群	発	-	9:20	9:50	10:20
2	空港連絡通路下	着	-	9:21	9:51	10:21
		発	-	9:22	9:52	10:22
3	愛知県国際展示場	着	-	9:25	9:55	10:25
		待機	-	15分	15分	15分
		発	-	9:40	10:10	10:40
4	りんくう常滑駅・イオンモール	着	-	↓	↓	↓
		発	-	↓	↓	↓
5	常滑駅	着	-	9:55	10:25	10:55
		待機	-	-	-	-
		発	9:26	9:56	10:26	10:56
6	陶磁器会館・やきもの散歩道	着	9:27	9:57	10:27	10:57
		発	9:28	9:58	10:28	10:58
7	りんくう常滑駅・イオンモール	着	9:36	10:06	10:36	11:06
		発	9:37	10:07	10:37	11:07
1	空港島ホテル群	着	9:49	10:19	10:49	11:19
		後運用	W2	B2	W3	B3

B13	W14	B14	W15
バス	ワゴン	バス	ワゴン
B12	W13	B13	W14
21:20	21:50	22:20	22:50
21:21	21:51	22:21	22:51
21:22	21:52	22:22	22:52
21:25	21:55	22:25	22:55
-	-	-	-
21:26	21:56	22:26	22:56
21:39	22:09	22:39	23:09
21:40	22:10	22:40	23:10
21:47	22:17	22:47	23:17
12分	12分	12分	-
21:59	22:29	22:59	-
↓	↓	↓	-
↓	↓	↓	-
22:06	22:36	23:06	-
22:07	22:37	23:07	-
22:19	22:49	23:19	-
B14	W15	終着	終着